

特集

OMUPが発足して早や半年が過ぎました。そこで、OMUP発足時にお手本とさせていただいた三重大学出版会から、当出版会設立にご尽力された阿閉氏を招き、三重大学出版会設立に際する苦労話やその意義について特別講演していただきました。

特別講演

「大学における学術書刊行のすすめ - 三重大学の事例 - 」
三重大学出版会常務理事（同工学部教授）
阿閉 義一氏

去る7月27日、大阪市立大学学術情報総合センター会議室において、OMUP臨時評議会に先立ち、三重大学出版会常務理事（工学部教授）阿閉義一氏による特別講演があった。当日は会員の集まりは良くなかったものの、今日の大学の在り方にも深くかかわる大学出版活動について参加者には深い感銘を与えるものであった。

以下はその概要である。

三重大学は人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部、教員数約700人から構成する中規模の国立大学である。その地方大学として生き残りかけた活動の一つとして既に10年前に出版会を立ち上げた。国立大学としては東大（5年）、北大（7年）、九大（7年）、名大（8年）に続くものとして計画したが、京大（7年）および他の旧帝大である東北大・阪大にも先を越され、第8番目の大学出版会となった。当初は困難な点もあったが、過去10年で58点を出版し、国立大学独立法人化の昨今、株式会社に移行することを決定するに至った。

出版会の規約は極めてゆるやかで、任意団体（学会方式）として立ち上げ学内教員の約40%の参加を得ている。役員は無報酬、会員のボランティアである。出版のやり方は労力少なく、著者がコンピューター原稿を完成させることを原則とし、一部は編集部が学生アルバイトを使ってお手伝いする程度である。必ず売れるものを出版することがモットーで、教科書および副読本、あるいは定年退職教官の記念出版等となっている。当初100万円でスタートした出資金が減らない状況で推移してきたが、株式会社に移行するために会員増資を募ったところ、すでに40万円を超え、1000万円になる目途も立った。それ程までに学内教員の賛同が得られるまでに実績を積み重ねてきた10年であった。現在 TL 等大学の独



立法化の中にあって現職教員の一般企業との兼業可能への道も含め極めて流動的であり、シンクタンクとしての学術書刊行は大学にこそ与えるべき知的表現として重要度が増しつつある。

冒頭にも言ったように出版会は大学の教育改革の一貫として位置付けられたもので、これまで三重大学が実施して来たものを紹介しておく。最初はパンキョウ（一般教育のこと）を中心とした、教養の改革は全国では（国立99大学中）32から33番目だった。それを機に物理工学科を創立させたのは全国で3番目であった。昨今のAO入試は6番目で本年から、インターネット大学講義も9年から8テーマで系統的に進めている。

講演の最後に般若心経の一節を大学のあり方に当てはめ、あふれんばかりの熱弁に聴衆は感銘のうちに聞き入り、講演終了後の臨時評議員会が時間変更を余儀なくされるほどであった。OMUPでは、今後の機会を見てこのような学術講演を持つよう努めることにしている。（足立泰二）

OMUPニュースレター

大阪公立大学共同出版会
〒599-8533 堺市学園町1-1
(072)252-1161 FAX54-9408
振込先 三和銀行中野支店
普通 3976510
大阪公立大学共同出版会
編集・発行 W. WORKS

臨時評議員会終わる

平成13年7月27日、午後4時半から大阪市立大学学術情報総合センター10F会議室において、OMUP設立後最初の評議員会が成立した。当日は、設立後の承認事項としての議題案件の処理が主なものであつて、概要左記の点が特段の質疑もなく終了した。

【承認議題案件】
一、評議員の承認
一、会員拡大について
一、刊行推進について

第一の議題、評議員の任命については、設立時世話人は全員評議員として任命する。・設立時以降出資者も評議員として任命する。・設立時の出資額が不足しており、出資金を増額させる必要があるとの認識が示された。今後の活動としては、各大学同窓会企業などへ働きかけ、出資金の増額を図りたいとし、評議員に会員拡大の認識を訴えた。



なお、評議員会に先立ち行われた、三重大学出版会常務理事（同大学工学部教授）阿閉義一氏の特別講演会「大学における学術書刊行のすすめ - 三重大学の事例 -」では、その熱い語り口に聴衆みな引き込まれるほどであった。（特集参照）

第一回OMUPサロンの開催される

OMUP出版会として刊行された『オムニア』が、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴで開催された「オムニア」のシンポジウムで、大阪府立大学の阿閉義一氏が、その熱い語り口に聴衆みな引き込まれるほどであった。（特集参照）

あった。当企画は、当初自費出版の予定で、5年間温められていた企画。大手出版社では、300部発行で、出版費用は300万円であったが、OMUPで出版したところ、300部で、出版費用は150万円、印刷は取らず、定価三千円で販売することができた。今後は評議員会に対し、図書刊行推進の認識を訴えていくことが示された。

OMUPでは、目下、二、三の出版企画が進行していますが、会員からの企画提案を期待しております。見積もり等、具体的相談に応じます。お気軽に理事、常務、編集部員にお問い合わせください。また、OMUPの事業内容等については、左記のウェブサイトで見ることも出来ます。専用メールアドレスも下記の通りです。

OMUPから出版を！

OMUPホームページについて開設

かねてからお知らせしていましたが、OMUPの活動状況や出版状況を見ることができます。さらに、ホームページ上に会員登録に関する情報や規約も掲載されていますので、まだ会員登録になられていない方に、是非ご紹介ください。具体的な活動内容は、掲載されているニュースレターでもご覧になることができます。

URL: <http://www.cygnus.jiribun.osaka-wu.ac.jp/~OMUP>